

カキのノロウイルスに係る平常時の水準調査委員会(第7回)【概要】

令和3年度カキのノロウイルスに係る平常時の水準調査を本年10月から開始するため、主要生産道府県及び関連省庁等が集まり調査委員会(第7回)を開催した。

1. 開催場所：東京（AP 東京丸の内）、WEB 会議併用

2. 日時：令和3年9月15日 13:30～15:00

3. 出席者

主要生産道府県（14）、研究機関（公益社団法人日本食品衛生協会、国立医薬品食品衛生研究所、国立保健医療科学院、国立感染症研究所、国立研究開発法人水産研究・教育機構）、一般社団法人大日本水産会、全国漁業協同組合連合会、分析機関、関係省庁（内閣府食品安全委員会、水産庁、農林水産省（畜水産安全管理課、食品安全政策課））

4. 議事概要

（1）「令和3年度カキのノロウイルスに係る平常時の水準調査（案）」（資料3）及び「カキのノロウイルスに係る平常時の水準調査手順書（案）」（資料4）により、令和3年度調査の設計等を確認した。

（2）令和3年度レギュラトリーサイエンス研究推進委託事業の短期課題解決型研究において昨年度より実施している、カキ中のノロウイルス低減対策に関する研究について「カキ中のノロウイルス低減対策に関する研究」（資料5）により報告した。

(3) ご意見、質疑

- ✓ レギュラトリーサイエンス研究推進委託事業で行う「カキ中のノロウイルス低減対策に関する研究」では、サポウイルスについてノロウイルス代替ウイルスとしての有用性検討を行う。ネコカリシウイルスは、他の消化器系のヒトノロウイルス代替ウイルスと比較して、消毒処理に対する耐性が異なることが報告されているので、ノロウイルスにより近いサポウイルスでの評価に期待。
- ✓ カキ中のノロウイルス低減対策に関する研究について、産卵直後のカキにウイルスを曝露させたところ、取り込みが見られなかったとのことだが、過去の水準調査においても全国的に 10,11 月のノロウイルス検出量が低かった。ノロウイルス感染者が少なくウイルスがカキに共有されない状態なのか、カキが取り込みを行わないためなのか関心がある。